
基本目標4 安全・安心して暮らせるむら

| | |
|-----------|-----------------|
| 分野⑮ 防災 | 施策24 防災体制の充実 |
| | 施策25 消防体制の確立 |
| 分野⑯ 防犯 | 施策26 防犯・交通安全の充実 |
| 分野⑰ 医療体制 | 施策27 医療体制の確保 |
| 分野⑱ 放射線対策 | 施策28 風評被害払拭 |

施策24 防災体制の充実



現状と課題

- 防災に関する情報は、防災無線のほかに防災アプリやメールなどにより情報発信を行っていますが、それらの方法を使用できない高齢者等への情報発信が課題となっています。また、避難行動要支援者への支援に今後取り組む必要があります。
- 村では過去に東日本大震災によるがけ地の崩壊や集中豪雨による水害が発生しています。ハザードマップ指定地区について、台風や豪雨の際の状況確認を徹底し、災害に対する警戒を行っていく必要があります。



2019年台風19号による村内の被害

今後の方針

- 災害時の情報発信手段については、既存の方法を継続しつつ、柔軟に検討し、全世代に情報を届けることができるように対応します。また、避難行動要支援者の避難については、関係機関と連携して計画を策定し、全ての人が安心して避難できる体制づくりを行っていきます。
- ハザードマップ指定地域や河川について随時対応していきます。

主な取り組み

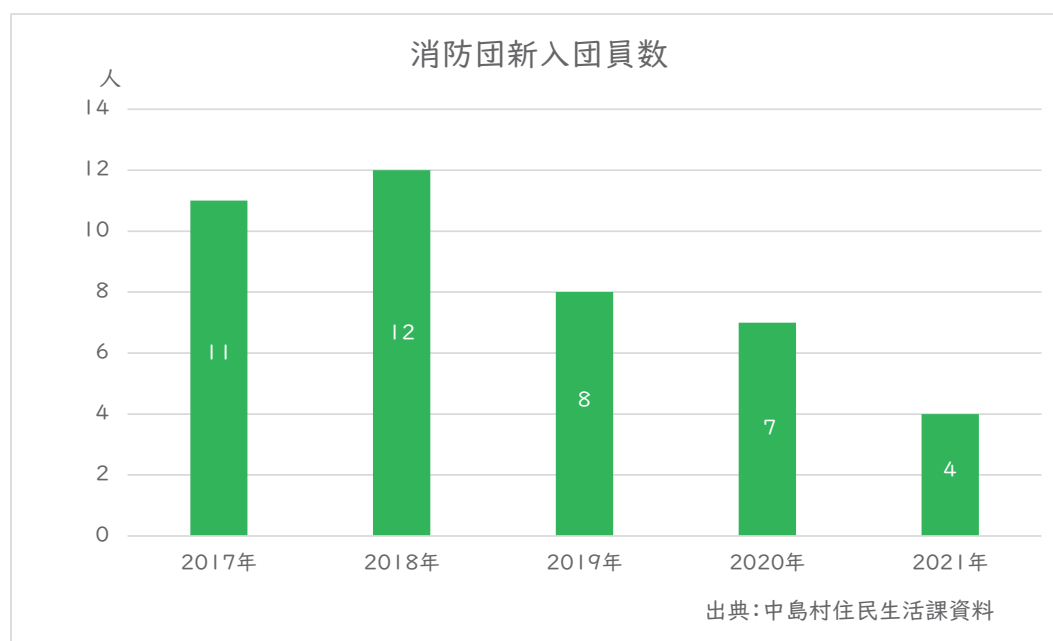
| 事業名 | 事業内容 |
|---------------------------|---|
| 防災情報発信手段の充実 | 既存の防災情報発信手段を継続しつつ、より多くの世代に届く新たな防災情報発信手段を整備していきます。 |
| ハザードマップで危険箇所指定されている箇所への対応 | ハザードマップで危険箇所指定されている浸水地域や急傾斜地、河川への対応を検討します。 |
| 防災組織・協力関係の強化 | 自主防災組織（行政区）の設立支援や自治体、民間企業との災害時支援協定等の整備を進めます。 |
| 防災用品等の拡充 | 避難所や防災倉庫に配備された防災用品等の拡充を図ります。また、各家庭の自主備蓄を促します。 |

施策25 消防体制の確立



現状と課題

- 意識の変化や若者の転出等により、年々消防団員の確保が困難となっています。
- 村民の就業形態の変化により、日中活動できる団員が減少しています。日中の消防体制強化をどのように行うか検討が必要です。
- 近年、全国的に大きな水害が頻発しており、村においても過去に被害が発生しています。水害に対応できる消防団の活動が求められています。



今後の方針

- 日中の人手不足を解消するため、消防団OB等による機能別消防団(※)の配備について検討を進めます。
- 少子化が進む中で消防団員定数の見直しや消防機能を低下させないための具体策を検討していきます。

※機能別消防団…それぞれの能力やメリットを活かしながら、特定の消防団活動や時間の許す範囲で活動を行う消防団制度のこと(総務省消防庁ホームページより)。

主な取り組み

| 事業名 | 事業内容 |
|------------|---------------------------------------|
| 消防体制の維持・強化 | 団員の確保とともに、消防機能向上のための設備等拡充を検討します。 |
| 消防設備更新 | 消防施設(車両・消火栓等)の老朽化に合わせ、計画的に更新・修繕を行います。 |
| 各種災害訓練 | 火災や水害等の災害に備え計画的な訓練等を実施します。 |

施策の目標

| 目標名 | 現状値(2021年度) | 目標値(2032年度) |
|------------------|-------------|-------------|
| 消防団新入団員数(年間) | 4人 | 5人 |
| 防災・防衛訓練等実施回数(年間) | 2回 | 5回 |

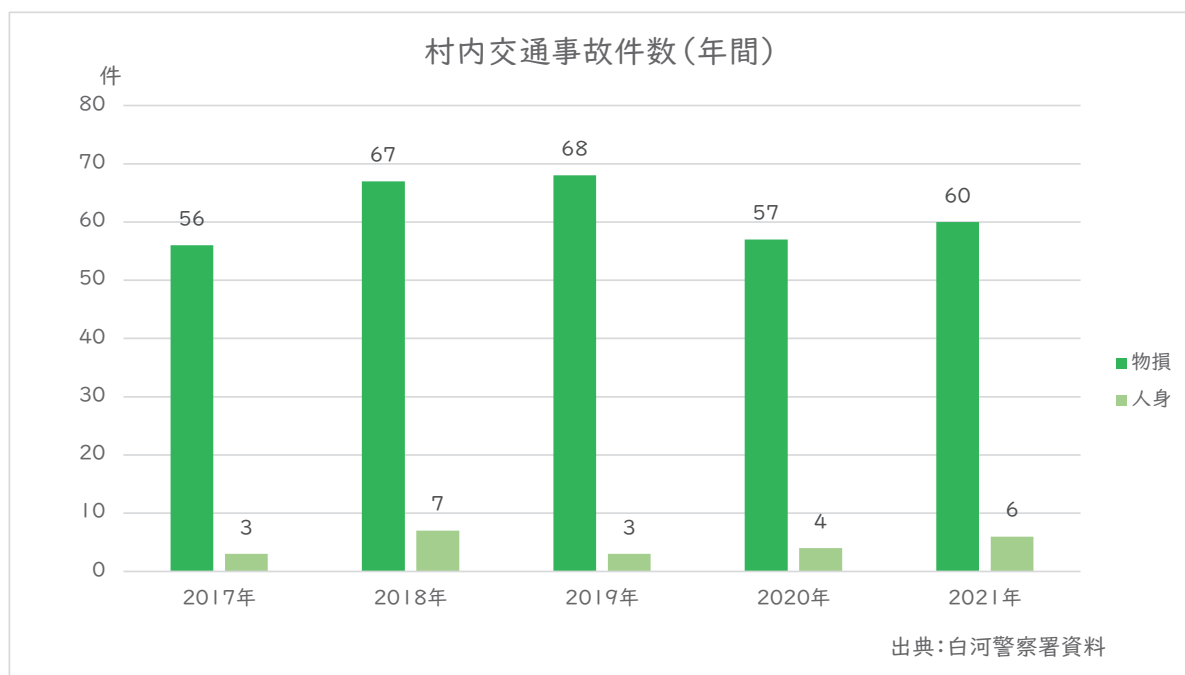
施策26 防犯・交通安全の充実



現状と課題

●これまで行政区からの要望などを受け、防犯灯の新設や既に設置してある防犯灯のLED化を進めてきました。しかし、場所によっては防犯灯が無いなど、防犯上の課題が残っている箇所もあります。

●村内における交通事故発生件数は増減を繰り返しています。交通安全対策として、中島村交通安全協会等の推進団体による啓発活動や、注意喚起の看板等の設置を行っています。特に、交通量が多い路線は、警察や県道管理者である福島県とともに交通安全対策を進める一方、運転手や歩行者への交通ルールの周知も必要です。



今後の方針

●防犯診断やカーブミラー清掃、交通安全テント村などこれまでの事業を継続しつつ、新しい手法や広報なども検討します。また、関係機関と連携しながら時代に合った防犯及び交通事故の発生抑制に努めます。

●住民に必要な情報を発信し、防犯及び交通安全意識を高め、安全な村を目指します。

主な取り組み

| 事業名 | 事業内容 |
|---------|---|
| 防犯施設整備 | 対策が必要な場所への防犯灯、防犯カメラの設置を検討します。 |
| 防犯意識の高揚 | 防犯協会等を中心に関係機関と連携し防犯活動、防犯体制の充実を図ります。 |
| 交通安全対策 | 交通事故の危険がある箇所への注意喚起看板等の設置や交通安全運動期間のパトロール活動などを実施し、交通安全対策を推進します。 |

施策の目標

| 目標名 | 現状値(2021年度) | 目標値(2032年度) |
|----------------|-------------|-------------|
| 防犯灯新規設置箇所数(年間) | 6箇所 | 10箇所 |
| 交通事故件数(年間) | 66件 | 減少 |

施策27 医療体制の確保



現状と課題

●村内医療機関は、診療所（内科及び歯科）のみで、入院施設はありません。多様化する医療ニーズに対応するため、村内医療機関や県、関係市町村と連携し、救急医療体制の確保や小児平日夜間救急事業の充実等広域的な取り組みを実施しています。

今後の方針

●身近な存在であるかかりつけ医の定着をはじめ、誰もが安心して医療を受けられるよう地域医療体制を充実させ、多様化する住民ニーズ等を踏まえ、県南地方全体で救急医療体制の充実と医師不足を解消し、安心して暮らせる地域を目指します。

主な取り組み

| 事業名 | 事業内容 |
|-----------|--|
| 救急医療体制の充実 | 各関係機関と連携し、初期救急医療また第二次救急医療体制及び小児平日夜間救急事業の充実に努めます。 |
| 県南地方の医師確保 | 県南地方において医師が不足しており、関係機関と連携して医師の確保を目指します。 |

施策28 風評被害払拭



現状と課題

●東日本大震災に起因する東京電力福島第一原子力発電所の事故から12年の歳月が経過し、住民を取り巻く生活環境は戻りつつあります。線量が徐々に低くなったことや除染事業が完了したことにより、村は2022年9月に国指定の汚染状況重点調査地域（平均空間線量 $0.23\mu\text{Sv/h}$ 以上の区域）の指定が解除されました。しかし、福島県に対する風評被害は未だ残っている状況であると言えます。

今後の方針

- 引き続き正確な情報発信を行い、必要に応じた食品等の線量測定や空間線量の公表（村ホームページ）により、安全性の確認と風評被害の払拭を図っていきます。
- 村の風評被害払拭PR事業を実施する団体を支援します。

主な取り組み

| 事業名 | 事業内容 |
|-----------------|---|
| 自家消費野菜等放射線量測定事業 | 測定を希望する村民から野菜などの検体を預かり線量値を計測し、その結果を公表します。 |
| ブランドイメージ回復支援事業 | 風評被害を払拭するためのPR事業を行う団体を支援します。 |

